

4

室内装備品の使いかた

・エアコン

- ・ 吹き出し口の調整 4 - 2
- ・ 吹き出し口表示と使用目的 4 - 3
- ・ マニュアルエアコン 4 - 4
- ・ オートエアコン 4 - 8
- ・ エアフィルターの交換 4 - 14

・オーディオシステム

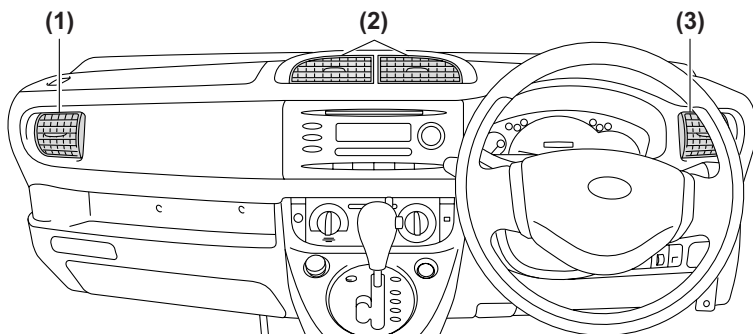
- ・ ラジオ受信について 4 - 15
- ・ アンテナについて 4 - 15
- ・ CDについて 4 - 16
- ・ MDについて 4 - 17
- ・ オーディオの種類 4 - 18
- ・ AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー 4 - 20
- ・ AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー 4 - 31
- ・ AM/FMマルチ電子チューナー・CD・MDプレーヤー 4 - 44

・室内装備

- ・ 室内の照明 4 - 60
- ・ カップホルダー 4 - 61
- ・ サンバイザー 4 - 62
- ・ 小物入れ 4 - 63
- ・ サブトランク 4 - 64
- ・ 電源ソケット 4 - 65

エアコン

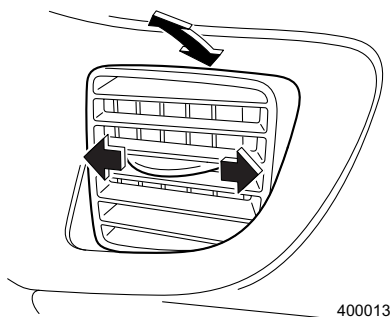
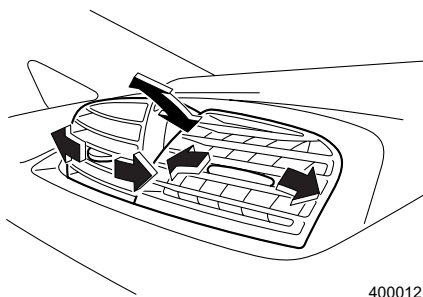
吹き出し口の調整



- (1) 左側吹き出し口 (2) 中央吹き出し口 (3) 右側吹き出し口

●吹き出し口

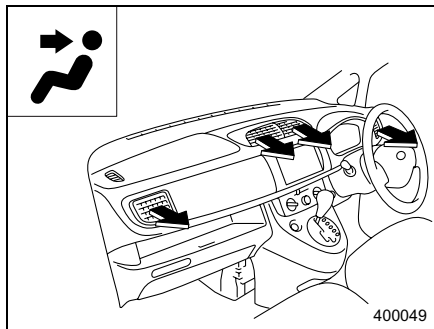
吹き出し口のノブを左右に、また、吹き出し口全体を上下に動かして風向きを調整します。



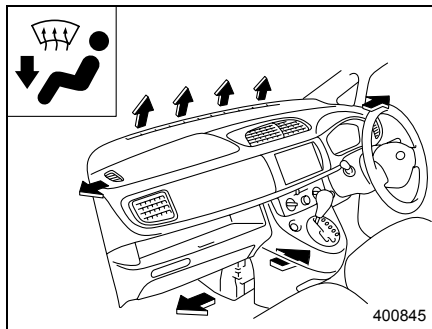
吹き出し口表示と使用目的

使用目的に合わせて吹き出し口を選択してください。

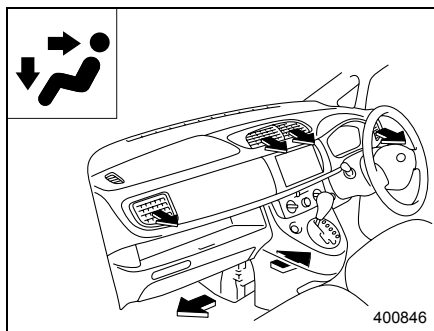
●上半身に送風したいとき



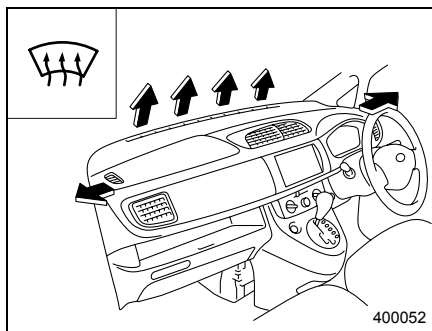
●足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



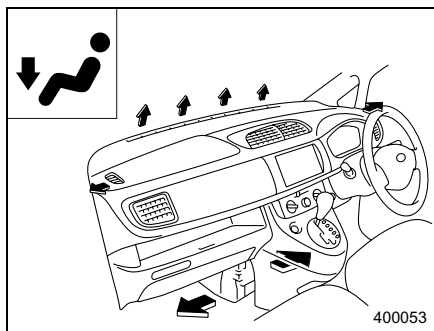
●上半身と足元に送風したいとき



●窓ガラスの曇りを取りたいとき

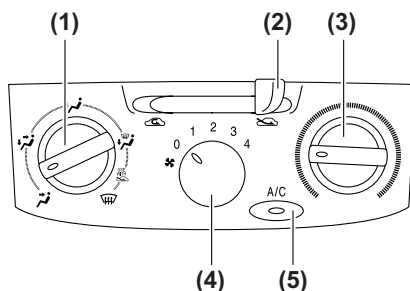


●足元に送風したいとき



室内装備品の使いかた

マニュアルエアコン



400014

- (1) 吹き出し口切り替えダイヤル
- (2) 内外気切り替えレバー
- (3) 温度調整ダイヤル

- (4) 風量調整（ファン）ダイヤル
- (5) A/Cスイッチ（冷房・除湿機能）

■エアコンの使いかた

エンジンをかけているとき、風量調整（ファン）ダイヤルを「0」以外の位置にすると作動します。冷房・除湿をするときは、さらにA/Cスイッチを押します。風量調整（ファン）ダイヤルを「0」にすると止まります。

🏠 アドバイス



- エンジンがかかっているときにスイッチを操作してください。
- 冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見えることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。
- 停車中の冷房効果を上げるため、アイドリング回転が高くなります。i-CVT車はクリープ現象が強くなりますので、ブレーキを確実に踏んでください。
- 炎天下に駐車したときには、冷房を使う前にウインドウを全開にするなどして熱気を追い出してください。

- 室内のにおいが気になるときには消臭剤を使用して消してください。空気が汚れているときや、タバコを吸うときは換気してください。ほこりやタバコの煙が冷房装置に付いて、におうことがあります。
- 冷房中は乾燥ぎみとなり、タバコの煙で目が痛くなることがあります。目が痛くなったときは外気を導入してください。
- 体が冷え過ぎないように適温に調整してください。冷え過ぎは健康を損ないます。
- 冷房・除湿機能は各部を潤滑するためにも月に2、3回程度作動させてください。
- 冷えない場合、冷媒不足も考えられます。お近くのスバル販売店で点検を受けてください。
- 次の場合、冷房・除湿機能は作動しません。
 - ・ 室内の温度が低いとき
 - ・ 外気温度が低いとき（0℃以下のとき）

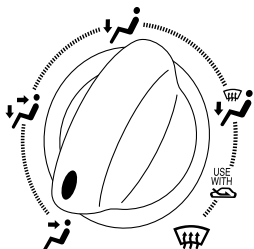
■操作パネルの使いかた

●吹き出し口切り替えダイヤル

使用目的に合わせて吹き出し口を切り替えます。



は、使用時に外気導入に切り替えることをお奨めする表示です。

☆4-3ページ参照

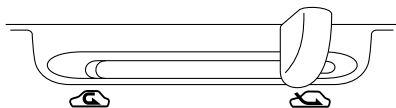


400021

●内外気切り替えレバー

レバーを  の位置に合わせると内気循環になり、 の位置に合わせると外気導入になります。


早く冷房したいとき、または、冷房の効きを高めたいときには、内気循環をお使いください。



400025

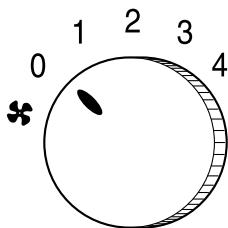
 アドバイス

降雪時には

降雪時はフロントガラスの氷結を防止するため、 で走行することをお奨めします。

●風量調整 (ファン) ダイヤル

風量を4段階に調整できます。数字が大きくなるほど強くなります。



400016

 注意

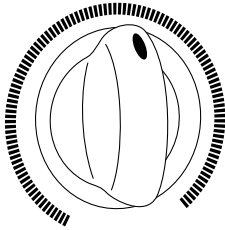
内気循環は必要なときだけ使い、通常は外気導入を使ってください。内気循環で長時間使うと、万一、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂が生じた場合、排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また、ガラスが曇りやすくなりますので、内気循環で使用する場合は、A/Cスイッチを押して除湿機能を働かせて使用してください。

室内装備品の使いかた

●温度調整ダイヤル

送風温度を調整します。

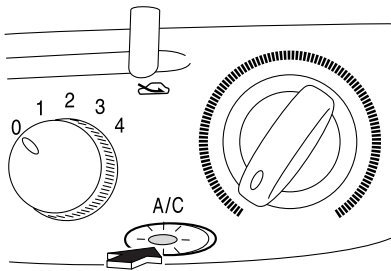
温度を上げるときは右へ、下げるときは左へ回します。



400022

●A/Cスイッチ

風量ダイヤルが「0」以外のとき、スイッチを押すと冷房・除湿機能が作動し、スイッチ内のランプが点灯します。もう一度押すと冷房・除湿機能は停止します。



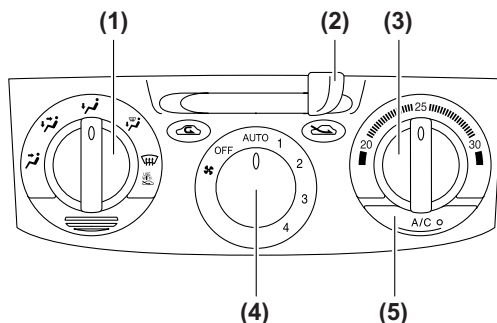
400015

■マニュアルエアコンの使いかた

スイッチ	吹き出し口 切り替え	風量調整	A/C スイッチ	温度調整	内外気 切り替え	アドバイス
冷房		希望位置	ON	希望位置 (中間より左側)		<ul style="list-style-type: none"> 早く冷やしたいときは、内外気切り替えレバーを内気循環にしてください。 冷房の効きを高めたいときは、内気循環をお使いください。
暖房		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間より右側)		<ul style="list-style-type: none"> ウインドゥにも少し送風されますが、これはウインドゥの曇りを防止するためのものです。 顔部が熱い場合は、温度調整ダイヤルを左側に動かし、適温に調整してください。
曇り除去と暖房		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間)		<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルの位置によっては曇り除去機能が低下する場合があります。
頭寒足熱		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間)		<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルを右または左いっぱいにすると頭寒足熱にはなりません。冷風または温風のみので吹き出しになります。
曇り除去		希望位置	ON	中間より右側		<ul style="list-style-type: none"> 夏期においてウインドゥの曇りを除去する場合、温度調整ダイヤルは中間より左側でご使用ください。 外気温度と吹き出し風の温度差が大きいと、ウインドゥの外側が曇る場合があります。このときは風量調整ダイヤルを「0」にするか、温度調整ダイヤルを右に動かしてください。
換気		希望位置	OFF	希望位置		

室内装備品の使いかた

オートエアコン



400017

- (1) 吹き出し口切り替えダイヤル
 (2) 内外気切り替えレバー
 (3) 温度調整ダイヤル

- (4) 風量調整（ファン）ダイヤル
 (5) A/Cスイッチ（冷房・除湿機能）

■エアコンの使いかた

エンジンをかけているとき、風量調整（ファン）ダイヤルを「OFF」以外の位置にすると作動します。冷房・除湿をするときは、さらにA/Cスイッチを押します。風量調整（ファン）ダイヤルを「OFF」にすると止まります。

■オートでの使いかた

- ①温度調整ダイヤルで希望温度に設定します。
- ②吹き出し口切り替えダイヤルを好みの位置に回します。
- ③風量調整（ファン）ダイヤルをAUTOに回します。
- ④A/Cスイッチを押してONにします。

🏠 アドバイス


- エンジンがかかっているときにスイッチを操作してください。
- 冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見えることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。
- 停車中の冷房効果を上げるため、アイドリング回転が高くなります。
i-CVT車はクリーブ現象が強くなりますので、ブレーキを確実に踏んでください。
- 炎天下に駐車したときには、エアコンを使う前にウィンドウを全開にするなどして熱気を追い出してください。
- 室内のにおいが気になるときは消臭剤を使用して消してください。空気が汚れているときや、タバコを吸うときは換気してください。ほこりやタバコの煙が冷房装置について、におうことがあります。



- 目が痛くなったときは外気を導入してください。冷房中は乾燥ぎみになり、タバコの煙で目が痛くなることがあります。
- 体が冷え過ぎないように適度に温度を調整してください。冷え過ぎは健康を損ないます。健康上、外気温度と室内温度の差は5～6℃が適当です。
- 冷房・除湿機能は各部を潤滑するためにも月に2、3回程度作動させてください。
- 冷えない場合、冷媒不足も考えられます。お近くのスバル販売店で点検を受けてください。
- 次の場合、冷房・除湿機能は作動しません。
 - ・室内の温度が低いとき
 - ・外気温度が低いとき（0℃以下のとき）

■操作パネルの使い方

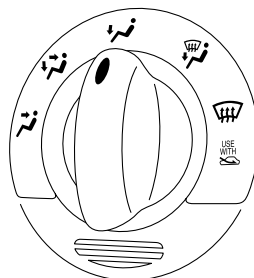
●吹き出し口切り替えダイヤル

使用目的に合わせて吹き出し口を切り替えます。

ダイヤルをにしたときは、効果的に曇りを取るため、自動で除湿機能（A/Cスイッチ）がONになります。

は、使用時に外気導入に切り替えることをお奨めする表示です。


☆4～3ページ参照



400018

アドバイス

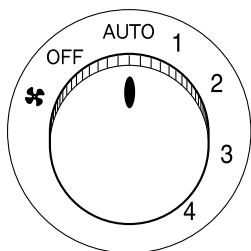
降雪時は

降雪時はフロントガラスの水結を防止するため、で走行することをお奨めします。

室内装備品の使いかた



●風量調整（ファン）ダイヤル

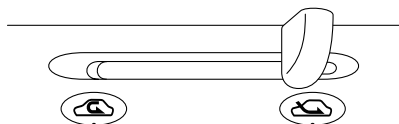
風量を調整し固定するときあるいは AUTO にしたいときに使います。風量は AUTO を含め 5 段階に調整できます。



400019

●内外気切り替えレバー

一時的に外気を遮断したい場合に使います。レバーを  の位置に合わせると内気循環になり、 の位置に合わせると外気導入になります。早く冷房したいとき、または冷房の効きを高めたいときには、内気循環をお使いください。



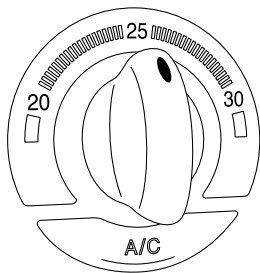
400024

 注意

内気循環は必要ときだけ使い、通常は外気導入を使ってください。内気循環で長時間使うと、万一、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂が生じた場合、排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また、ガラスが曇りやすくなりますので、内気循環で使用する場合は、A/C スイッチを押して除湿機能を働かせて使用してください。

●温度調整ダイヤル

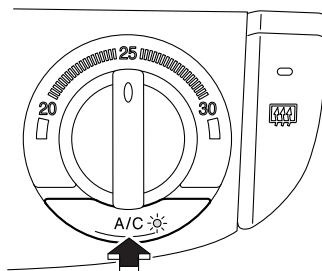
室内温度を調整するとき使います。
温度設定は20.0～30.0℃の範囲で変更できます。ただし、20.0℃または30.0℃を設定したときは最大冷房または最大暖房となります。



400023

●A/Cスイッチ

風量ダイヤルが「OFF」以外のとき、スイッチを押すと冷房・除湿機能が作動し、スイッチ内のランプが点灯します。もう一度押すと冷房・除湿機能は停止します。



400020

■オートエアコンの使いかた

スイッチ	吹き出し口切り替え	風量調整	A/Cスイッチ	温度調整	内外気切り替え	アドバイス
冷房		希望位置	ON	希望位置 (中間より左側)		<ul style="list-style-type: none"> 早く冷やしたいときは、内外気切り替えレバーを内気循環にしてください。 冷房の効きを高めたいときは、内気循環をお使いください。
暖房		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間より右側)		<ul style="list-style-type: none"> ウィンドゥにも少し送風されますが、これはウィンドゥの曇りを防止するためのものです。 顔部が熱い場合は、温度調整ダイヤルを左側に動かし、適温に調整してください。
曇り除去と暖房		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間)		<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルの位置によっては曇り除去機能が低下する場合があります。
頭寒足熱		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間)		<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルを右または左いっぱいにするとう頭寒足熱にはなりません。冷風または温風のみので吹き出しになります。
曇り除去		希望位置	ON	中間より右側		<ul style="list-style-type: none"> 夏期においてウィンドゥの曇りを除去する場合、温度調整ダイヤルは中間より左側でご使用ください。 外気温度と吹き出し風の温度差が大きいと、窓の外側が曇る場合があります。このときは風量調整ダイヤルを「OFF」にするか、温度調整ダイヤルを右に動かしてください。
換気		希望位置	OFF	希望位置		

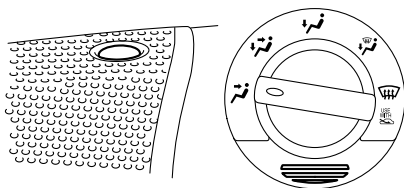
注) 吹き出し口切り替えダイヤルを にすると、効果的に曇りを取るため、自動で除湿機能(A/Cスイッチ)がONになります。

■感知センサー

オートエアコンには次のセンサーが付いています。

センサーに衝撃を与えたり、水をかけたり、物を置いたりしないでください。温度制御にずれが発生する原因となります。

- 日射センサー
(左側フロントスピーカー部分)
- 室内温度感知センサー
(吹き出し口切り替えダイヤルの下側)



400026

エアフィルターの交換



エアコンにエアフィルターが装着されている場合、快適にお使いいただくため定期的に交換してください。

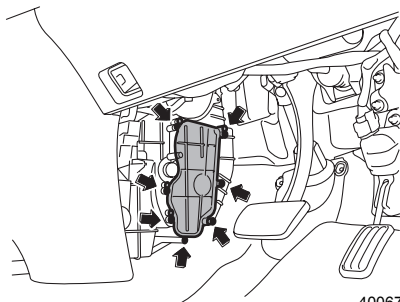
エアフィルターは、ブレーキペダルの左横にあります。

■交換時期

12,000 km走行ごとまたは1年ごと

■交換方法

- ①カバーを固定しているネジ7本を外します。カバーを取り外し、エアフィルターを交換します。



400679

オーディオシステム

アンテナについて

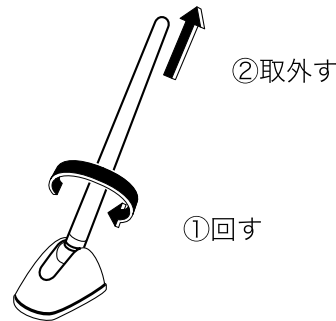
⚠ 注意

- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞いてください。車外の音が聞こえない状態で運転すると危険です。
- 運転者は車が止まっているときにラジオ・オーディオを操作してください。
- 内部に水や異物を入れないでください。故障の原因となります。
- お子さまがディスク挿入口に指を入れないようにしてください。けがの原因となるおそれがあります。

ラジオ受信について

- 受信感度は周囲の状況、気象状況、送信局からの電波の強さ、送信局からの距離によって影響を受けます。山ろくや建物の近くでは電波がさえぎられたり、電波が反響して受信状態が悪くなる場合があります。また、電車の架線や高圧電線の近くでは高圧電流の影響でノイズ(雑音)が入ったりするなど受信状態が悪くなる場合があります。
- ラジオを聞いているとき、室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うとノイズ(雑音)が入ることがあります。

- アンテナはルーフ後方の中央部に取り付けられています。
- アンテナのロッド部は前後方向に倒れます。ラジオを聞く際は、立てた状態にしてください。
- ロッドは根元を回すことで取り外しできます。



400111

⚠ 注意

- 車庫、立体駐車場等、低い天井がある場所では、ロッドを倒してください。
- 洗車機で洗車する場合、ロッドを取り外してください。取り付けたままだと、ルーフに傷がつく場合があります。
- 外したロッドを取り付ける場合は、確実に締め付けてください。

室内装備品の使いかた

CDについて

- 下図のマークがついている音楽CDを使ってください。下図のマークがないものは使えません。

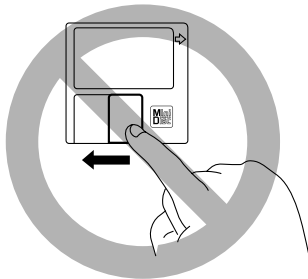


400335

- 大きい傷、変形、ヒビ等のあるディスクやハート型などの特殊形状のCDは使用しないでください。誤作動や故障の原因となる場合があります。
 - 寒いときや雨天のときは、プレーヤー内に露が生じ、正常に作動しないことがあります。この場合CDを取り出し、しばらく待ってから再度CDを挿入してください。
 - 炎天下に長時間駐車した後などはプレーヤーの温度が高くなり、正常に作動しないことがあります。温度が下がるまでしばらく待ってください。
 - 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びすることがあります。
- ディスクの記録部分に直接触れると音が悪くなる場合がありますので、手を触れないようにしてください。
 - ディスクは熱に弱いので直射日光の当たる場所やヒーター吹き出し口などの近くに置かないでください。ディスクが変形して使用できなくなります。
 - ディスクの記録部分にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで傷をつけたりしないでください。
 - ディスクはきれいなものをご使用ください。汚れている場合は、乾いた布で中心から外側に向かって拭いてください。硬い布やシンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

MDについて

- MDのシャッターは開けられないようになっていています。無理に開けるとカートリッジが損傷して使用できなくなります。シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指でさわらないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



400834

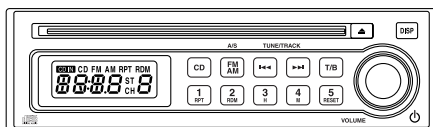
- カートリッジ表面の汚れやゴミは乾いた布で拭き取ってから使用してください。とくに油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクが引き込まれなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れするときは、シャッターを開けないようご注意ください。
- MDを長時間本体に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。
- MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。

- ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本体の中ではがれて取り出せないなど故障の原因となります。
- レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因となります。

オーディオの種類

■タイプA

AM/FM電子チューナー・CDプレーヤー

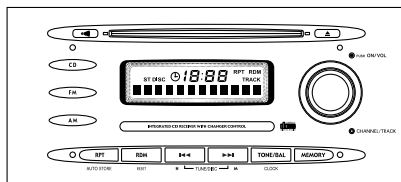


400657

- 1) 電源、音量・音質の調整4-20
- 2) ラジオを聞くとき4-22
- 3) ラジオの放送局を
記憶するとき4-24
- 4) CDを聞くとき4-26
- 5) 時計4-29

■タイプB

AM/FM電子チューナー・CDプレーヤー

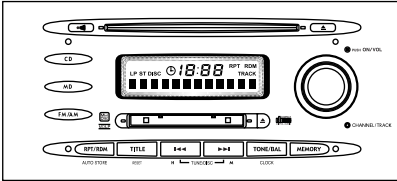


400056

- 1) 電源、音量・音質の調整 4-31
- 2) ラジオを聞くとき 4-33
- 3) ラジオの放送局を
記憶するとき 4-35
- 4) CDを聞くとき 4-37
- 5) オプションのCDチェンジャー
を接続したとき 4-40
- 6) 時計 4-43

■タイプC

AM/FM電子チューナー・CD/MDプレーヤー

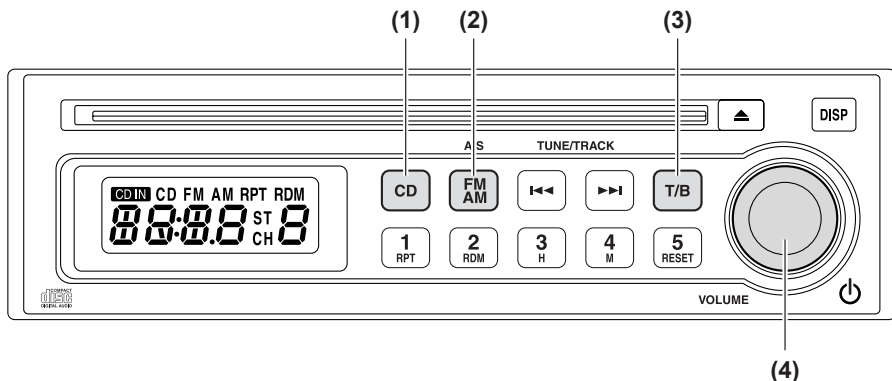


400057

- 1) 電源、音量・音質の調整4-44
- 2) ラジオを聞くとき4-46
- 3) ラジオの放送局を
記憶するとき4-48
- 4) MDを聞くとき4-50
- 5) CDを聞くとき4-53
- 6) オプションのCDチェンジャー
を接続したとき4-56
- 7) 時計4-59

AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー

電源、音量・音質の調整



400651

(1) CDボタン

(2) FM/AM (FM/AM切り替え) ボタン

(3) TONE/BAL (音質/音量バランス) ボタン

(4) ON/VOL (電源/音量調整) ダイアル

■電源を入れるとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「ON/VOL」ダイアル (4) を押すごとに電源がON・OFFします。

🏠 アドバイス

次の操作を行っても電源をONにすることができます。

- CDを挿入したとき
 - 「CD」ボタン (1) *、 「FM/AM」ボタン (2) を押したとき
- * 「CD」ボタン (1) はCDが挿入されているとき

■音量を調整するとき

「ON/VOL」ダイヤル (4) を回して調整します。

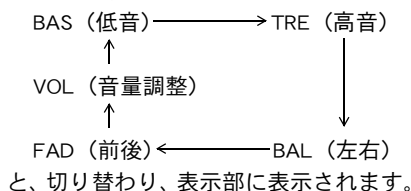
右に回す：音が大きくなります。

左に回す：音が小さくなります。

■音質と前後・左右の音量バランスを調整するとき

①「TONE/BAL」ボタン (3) を押して調整モードを選択します。

ボタンを押すごとに



②「ON/VOL」ダイヤル (4) を回してお好みの位置に調整します。

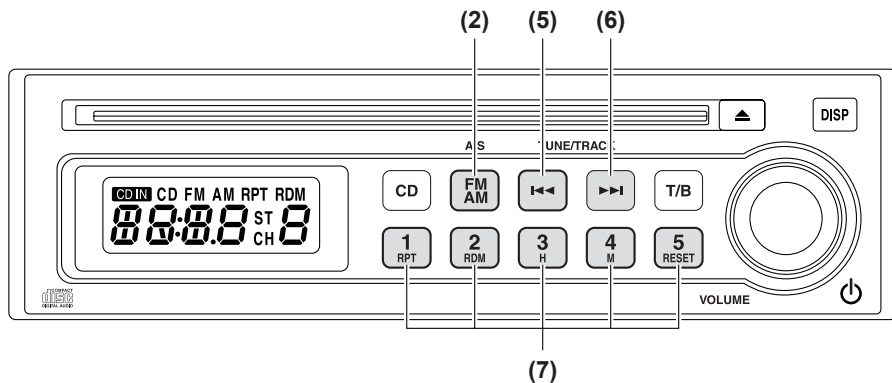
モード (調整レベル表示)	左に回す	右に回す
BAS (低音) (-7~+7)	低音減衰	低音強調
TRE (高音) (-7~+7)	高音減衰	高音強調
BAL (左右) (L6~R6)	右側減衰	左側減衰
FAD (前後) * (R6~F6)	前側減衰	後側減衰

* オプションのリヤスピーカーをつけたときの機能です。

🏠 アドバイス

調整時、5 秒間操作を行わないと、通常表示に戻ります。

ラジオを聞くとき



400652

- (2) FM/AM (FM/AM切り替え) ボタン
(5) (6) I◀◀ ▶▶I (ラジオ選局) ボタン

- (7) ワンタッチ選局ボタン

■FM/AMを受信するとき

「FM/AM」ボタン (2) を押します。

●バンドを切り替えるとき

「FM/AM」ボタン (2) を押し、バンドを選択します。

ボタンを押すごとに

FM ↔ AM

と、切り替わり、表示部に表示されます。

📌 アドバイス

表示部は時計の表示を優先するモードと、現在使用している機能の表示を優先するモードの切り替えができます。

☆4-30ページ参照

■選局するとき

「**◀◀**」ボタン (5) または「**▶▶**」ボタン (6) を押します。

●周波数に合わせて放送を聞くとき

「**◀◀**」ボタン (5) を押す：

ボタンを押すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります。

「**▶▶**」ボタン (6) を押す：

ボタンを押すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります。

●自動的に放送局を探すとき

「**◀◀**」ボタン (5) または「**▶▶**」ボタン (6) を0.5秒以上押します。放送局が見つかりと受信を始めます。

「**◀◀**」ボタン (5) を押す：

周波数の低い方へ放送局を探します。

「**▶▶**」ボタン (6) を押す：

周波数の高い方へ放送局を探します。



アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯します。

■記憶させた放送局を呼び出すとき

ワンタッチ選局ボタン (7) のいずれかを押しします。

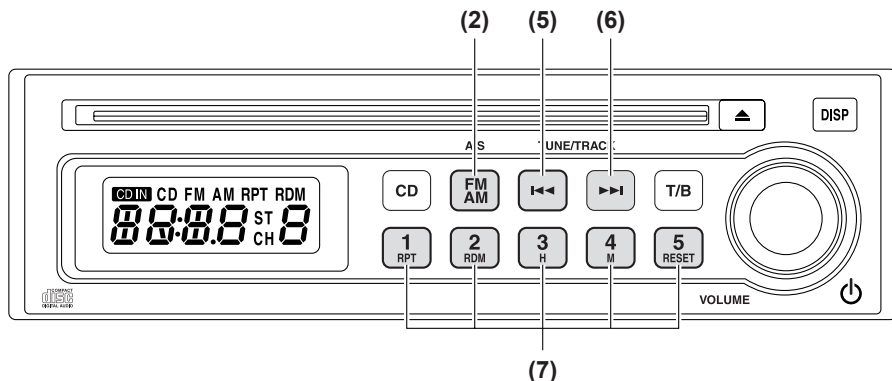


アドバイス

バッテリーを交換したときなどは記憶した内容が消去されます。この場合は再度記憶させてください。

☆4-24ページ参照

ラジオの放送局を記憶するとき



400652

- (2) FM/AM (FM/AM切り替え) ボタン
- (5) (6) ◀◀ ▶▶I (ラジオ選局) ボタン

- (7) ワンタッチ選局ボタン

■放送局を記憶するとき

- ①「FM/AM」ボタン (2) を押してバンドを選択します。
- ②「◀◀」ボタン (5) または「▶▶I」ボタン (6) を操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③ワンタッチ選局ボタン (7) のいずれか1つを2秒以上押します。
表示部に押したボタンの番号 (チャンネル番号) が表示されます。

🏠 アドバイス

各バンド (FM、AM) で最大5局まで記憶できます。

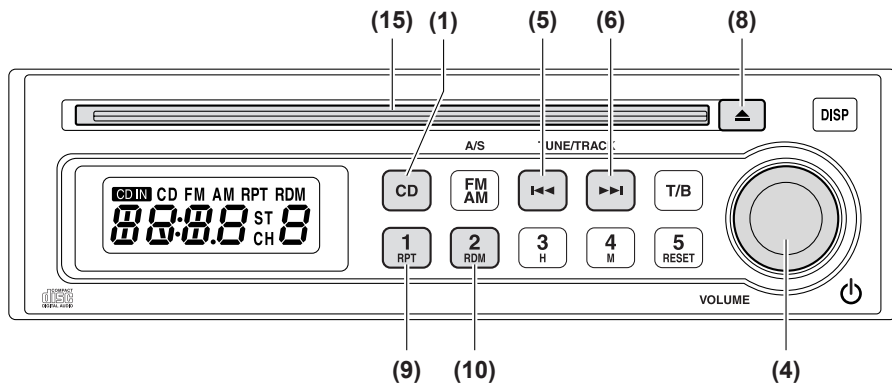
■自動的に放送局を記憶するとき (AUTO STORE)

- ①「FM/AM」ボタン (2) を押してバンドを選択します。
- ②「FM/AM」ボタン (2) を2秒以上押します。
受信可能な放送局が見つかったと、チャンネル1から自動的に周波数の低い順に記憶されます。

アドバイス

受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

CDを聞くとき



400835

- (1) CDボタン
- (4) ON/VOL (電源/音量調整) ダイヤル
- (5) (6) I◀◀ ▶▶I (CD選曲) ボタン
- (8) ▲(CD排出) ボタン
- (9) RPT (リピート演奏) ボタン
- (10) RDM (ランダム演奏) ボタン
- (15) CD挿入口

■CDを聞くとき

●CDを挿入する

CDのラベル面を上にしてCD挿入口 (15) に差し込みます。CDを挿入すると、表示部に“CD”が点灯し、演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号 (曲番号) を表示します。

🏠 アドバイス

表示部は時計の表示を優先するモードと、現在使用している機能の表示を優先するモードの切り替えができます。

☆4-30ページ参照

●CDが挿入されているとき

「CD」ボタン (1) を押すと演奏が始まります。CD 演奏中はトラック番号 (曲番号) を表示します。

アドバイス

- 8cmCDは8cmCD用アダプターを使用せず、そのまま挿入してください。アダプターを使用すると、ディスクが取り出せないなど、損傷の原因となります。
 - 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ (通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理) をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
 - CD-ROMやMP3*、WMA*で記録されたCDは再生できません。
 - CD・TEXTについては対応しておりません。
 - CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“ER-○”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタン (8) を押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスパル販売店で点検を受けてください。
- *音楽データを圧縮して記録する方式

■演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤル (4) を押して電源を切るか、他のモードに切り替えます。または「▲」ボタン (8) を押してCDを排出します。

■CDを取り出すとき

「▲」ボタン (8) を押します。CDが排出され、前のモードに切り替わります。

アドバイス

- エンジンスイッチがOFFでもCDの排出をすることができます。
- 排出されたCDを15秒以上そのままにしておく、自動的に引き込まれます。(エンジンスイッチがAccまたはONの場合)
この場合、CDの再生モードに切り替わらずそのままの状態です。CDを聞くときは再度「CD」ボタン (1) を押してください。
- CDが未挿入のときでも「▲」ボタン (8) を押すと、CD排出機構が動作し、動作音が聞こえます。

■選曲するとき

「◀◀」ボタン (5) または「▶▶」ボタン (6) を押します。

●先の曲にするとき

「▶▶」ボタン (6) を押します。押すごとに先の曲の頭出しをします。

●手前の曲にするとき

「◀◀」ボタン (5) を押します。1回押すと今聞いている曲の先頭に、押すごとに手前の曲の頭出しをします。

■曲の早送り、早戻しをするとき
「◀◀」ボタン (5) または「▶▶」ボタン (6) を押します。

●早送り

「▶▶」ボタン (6) を0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●早戻し

「◀◀」ボタン (5) を0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

■同じ曲を繰り返し聞くととき
(リピートプレイ)

①曲の演奏中に「RPT」ボタン (9) を押します。

②表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。

③解除するには再度「RPT」ボタン (9) を押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- CDを排出する
- ランダムプレイ機能にする
- 選曲、早送り、早戻しをする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 電源をOFFにする
- 他のモードにする

■曲を自動的に選ばせて聞くととき
(ランダムプレイ)

①曲の演奏中に「RDM」ボタン (10) を押します。

②表示部に“RDM”が点灯します。

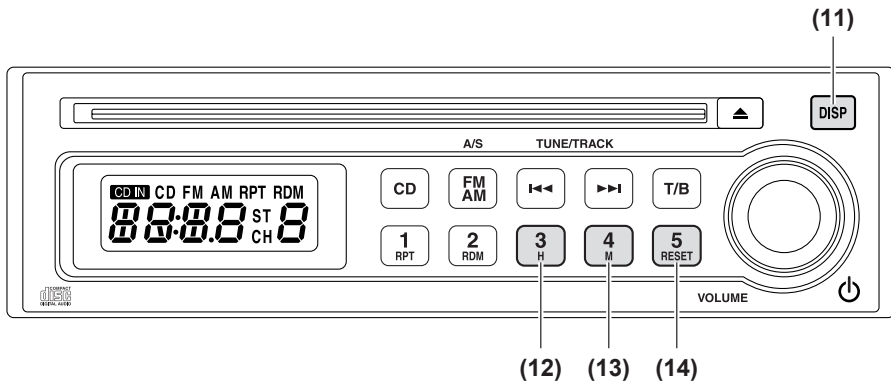
③曲を自動的に選び演奏します。

④解除するには再度「RDM」ボタン (10) を押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- CDを排出する
- リピートプレイ機能にする
- 選曲、早送り、早戻しをする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 電源をOFFにする
- 他のモードにする

時計



400654

- (11) DISP (表示切り替え) ボタン
 (12) (13) 時計調整ボタン

- (14) RESETボタン

■時計を合わせるとき

時計表示のとき、「DISP」ボタン (11) を押しながら「時計調整」ボタン (12) または (13) を押して、時刻を合わせます。

時 (H) の調整 : 「DISP」ボタン (11) を押しながら「時計調整」ボタン (12) を押します。

分 (M) の調整 : 「DISP」ボタン (11) を押しながら「時計調整」ボタン (13) を押します。

●時報に合わせて時刻を調整するとき

時計表示のとき、時報と同時に「DISP」ボタン (11) を押しながら「RESET」ボタン (14) を押します。

(例)

11 : 30 ~ 12 : 29 → 12 : 00

12 : 30 ~ 1 : 29 → 1 : 00

🏠 アドバイス

電源が切れて再び接続したときは、表示が「12 : 00」で点滅します。正しい時刻に合わせてください。

■時計表示と機能表示を切り替えるとき

「DISP」ボタン（11）を押すごとに時計表示優先モードと機能表示モードの切り替えができます。

●機能表示モード

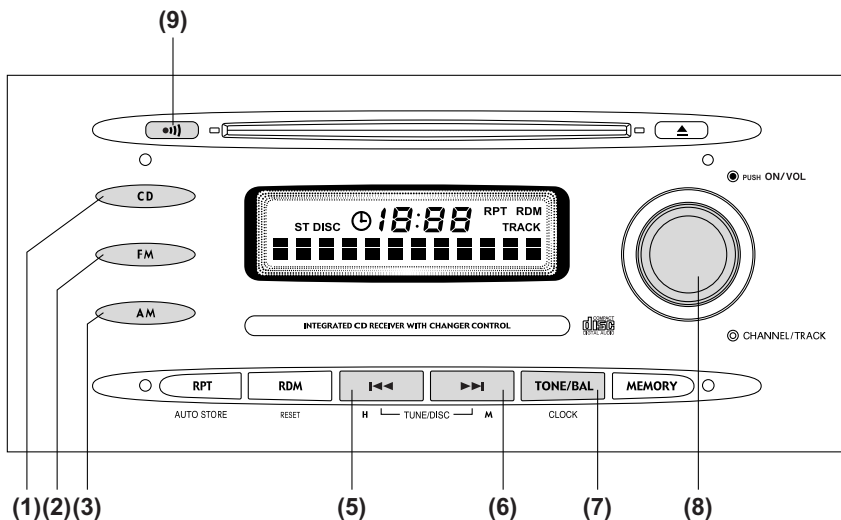
各モードの状態のみ表示するモードです。機能表示モードのとき「DISP」ボタン（11）を押すと、時計表示優先モードになります。

●時計表示優先モード

各操作を行うと、約5秒間はその操作に応じた表示を行い、その後時計表示に戻ります。

AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー

電源、音量・音質の調整



400441


- (1) CDボタン
- (2) FMボタン
- (3) AMボタン
- (5) ◀▶ ボタン
- (6) ▶▶ ボタン

- (7) TONE/BAL、CLOCK（音質／音量バランス、時計合わせ）ボタン
- (8) ON/VOL（電源／音量調整）ダイヤル
- (9) ㊦（交通情報）ボタン

■電源を入れるとき

エンジンスイッチが Acc または ON のとき、「ON/VOL」ダイヤル（8）を押すごとに電源がON・OFFします。

電源がONになると、前に電源をOFFにしたときのモードになります。


アドバイス

次の操作を行っても電源をONにすることができます。

- CDを挿入したとき
- 「CD」ボタン（1）*、「FM」ボタン（2）、「AM」ボタン（3）、「㊦」ボタン（9）を押したとき

*「CD」ボタン（1）はCDが挿入されているとき

室内装備品の使いかた

■音量を調整するとき

「ON/VOL」ダイヤル (8) を回して調整します。

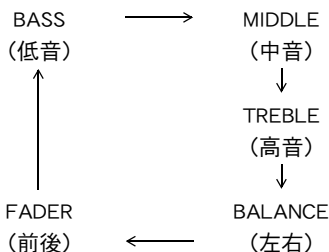
右に回す：音が大きくなります。

左に回す：音が小さくなります。

■音質と前後・左右の音量バランスを調整するとき

①「TONE/BAL」ボタン (7) を押して調整モードを選択します。

ボタンを押すごとに



と、切り替わり、表示部に表示されます。

② ◀◀ ボタン (5) または ▶▶ ボタン (6) を押して好みの位置に調整します。

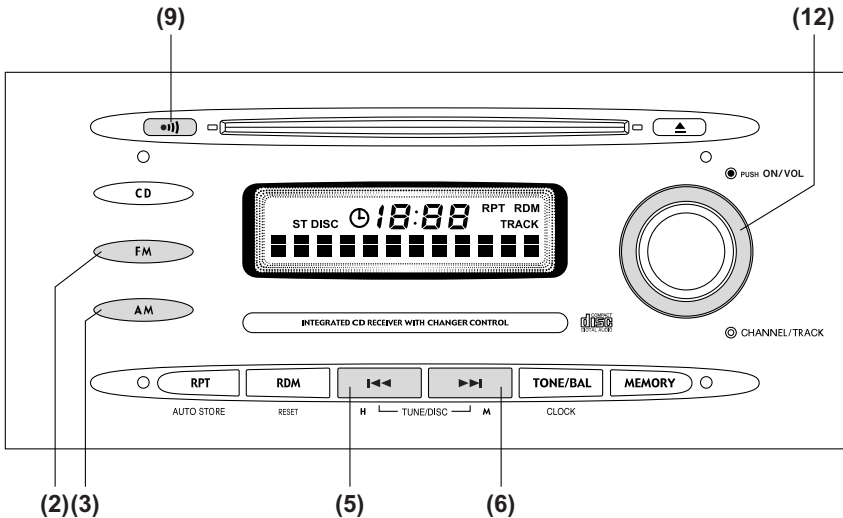
モード (調整レベル表示)	◀◀	▶▶
BASS (低音) (-6~+6)	低音減衰	低音強調
MIDDLE (中音) (-6~+6)	中音減衰	中音強調
TREBLE (高音) (-6~+6)	高音減衰	高音強調
BALANCE (左右) (L9~R9)	右側減衰	左側減衰
FADER (前後)* (R9~F9)	前側減衰	後側減衰

* オプションのリヤスピーカーをつけたときの機能です。

🏠 アドバイス

調整時、5 秒間操作を行わないと、通常表示に戻ります。

ラジオを聞くとき



400442

- (2) FMボタン
- (3) AMボタン
- (5) ◀▶ ボタン
- (6) ▶▶ ボタン

■FMを受信するとき

「FMボタン」(2)を押します。
ボタンを押すごとに

FM1 ↔ FM2

と、切り替わり、表示部に表示されます。

■AMを受信するとき

「AMボタン」(3)を押します。

- (9) 📻 (交通情報) ボタン
- (12) CHANNEL/TRACK (メモリー呼び出し) ダイアル

■選局するとき

「◀▶」ボタン(5)または「▶▶」ボタン(6)を押します。

●周波数に合わせて放送を聞くとき

「◀▶」ボタン(5)を押す：

ボタンを押すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります。

「▶▶」ボタン(6)を押す：

ボタンを押すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります。

室内装備品の使いかた

●自動的に放送局を探すとき

「◀◀」ボタン (5) または「▶▶」ボタン (6) を0.5秒以上押します。放送局が見つかると受信を始めます。

「◀◀」ボタン(5)を押す:

周波数の低い方へ放送局を探します。

「▶▶」ボタン(6)を押す:

周波数の高い方へ放送局を探します。



アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯します。

■記憶させた放送局を呼び出すとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル (12) を回してチャンネル番号を選択します。



アドバイス

バッテリーを交換したときなどは記憶した内容が消去されます。この場合は再度記憶させてください。

☆4-35ページ参照

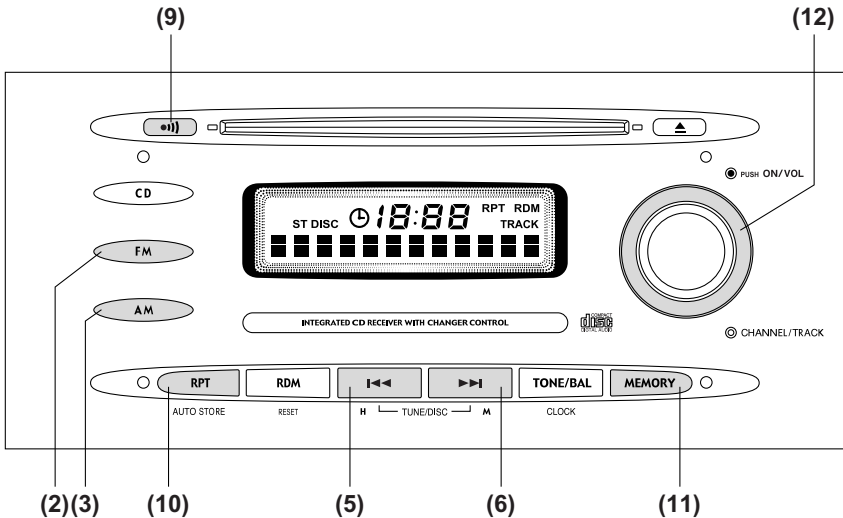
■交通情報を聞くとき

「📶」ボタン (9) を押します。

どのモードからでも自動的に切り替わります。

もう一度押すと、直前のモードに切り替わります。

ラジオの放送局を記憶するとき



400443

- (2) FMボタン
- (3) AMボタン
- (5) ◀▶ ボタン
- (6) ▶▶ ボタン
- (9) 📻 (交通情報) ボタン

- (10) RPT (リピート演奏) ボタン
- (11) MEMORYボタン
- (12) CHANNEL/TRACK (メモリー呼び出し) ダイアル

■手動で放送局を記憶するとき

- ①「FM」ボタン (2) または「AM」ボタン (3) を押してバンドを選択します。
- ②「◀▶」ボタン (5) または「▶▶」ボタン (6) を操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③「MEMORY」ボタン (11) を押し続けると選択した周波数が点滅し、その後「ch」が点滅します。

- ④「CHANNEL/TRACK」ダイアル (12) を回して記憶したいチャンネル番号 (1 ~ 6 ch) を選択します。
- ⑤「MEMORY」ボタン (11) を2秒以上押します。
- ⑥以降、同様に②~⑤の手順を繰り返し、他のチャンネルに放送局を記憶できます。

室内装備品の使いかた



アドバイス

各バンド（FM1、FM2、AM）で最大6局まで記憶できます。

■自動的に放送局を記憶するとき （AUTO STORE）

- ①「FM」ボタン（2）または「AM」ボタン（3）を押してバンドを選択します。
- ②「RPT」ボタン（10）*を2秒以上押します。
受信可能な放送局が見つかったと、チャンネル1から自動的に周波数の低い順に記憶されます。





*ラジオ受信モードでは「RPT」ボタンが「AUTO STORE」ボタンとなります。



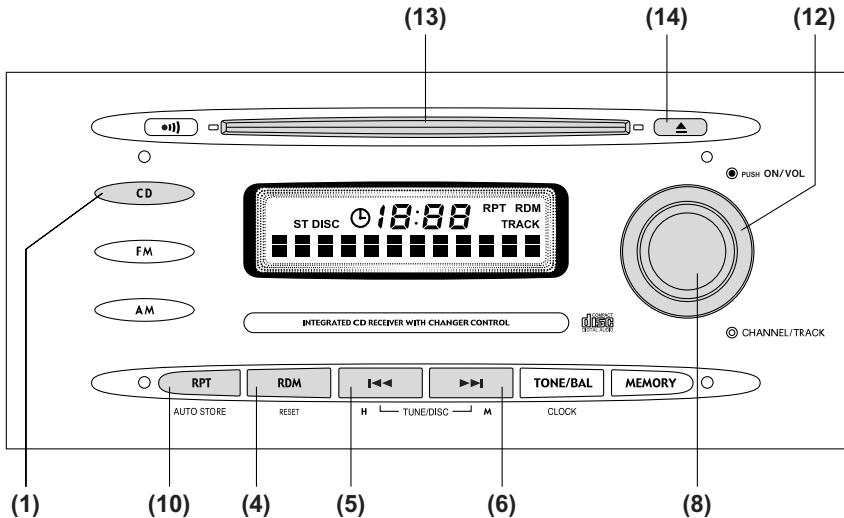
アドバイス

受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

■交通情報局をかえるとき

- ①「」ボタン（9）を押して交通情報を選択します。
- ②「」ボタン（5）または「」ボタン（6）を押して選局します。
- ③「」ボタン（9）を2秒以上押すと、選局した交通情報局を記憶させることができます。

CDを聞くとき



400444

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| (1) CDボタン | (10) RPT (リピート演奏) ボタン |
| (4) RDM (ランダム演奏) ボタン | (12) CHANNEL/TRACK (CD選曲) ダイアル |
| (5) I<<< ボタン | (13) CD挿入口 |
| (6) >>> ボタン | (14) イジェクト (CD排出) ボタン |
| (8) ON/VOL (電源/音量調整) ダイアル | |

■CDを聞くとき

●CDを挿入する

エンジンスイッチが Acc または ON のとき、CDを挿入することができます。ラベル面を上にしてCD挿入口 (13) に差し込みます。CDを挿入すると演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号 (曲番号) と演奏時間を表示します。

●CDが挿入されているとき

「CD」ボタン (1) を押すと演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号 (曲番号) と演奏時間を表示します。

室内装備品の使いかた

🏠 アドバイス

- 8 cm CD は 8 cm CD アダプターを使用せず、そのまま挿入してください。アダプターを使用すると、ディスクが取り出せないなど、損傷の原因となります。
- CDが挿入されていないとき、CD挿入口(13)の両端の表示灯は点灯しています。CDを挿入すると表示灯は消灯します。
- 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- CD-ROMやMP3*、WMA*で記録されたCDは再生できません。
- CD・TEXTについては対応していません。
- CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“ERROR -○”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタン(14)を押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。

* 音楽データを圧縮して記録する方式

■演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤル(8)を押して電源を切るか、他のモードに切り替えます。

■CDを取り出すとき

「▲」ボタン(14)を押します。CDが排出され、前のモードに切り替わります。

🏠 アドバイス

- 排出されたCDを15秒以上そのままにしておくと自動的に引き込まれます。(エンジンスイッチがAccまたはONの場合)この場合、CDの再生モードに切り替わらずそのままの状態です。CDを聞くときは再度「CD」ボタンを押してください。
- エンジンスイッチがOFFでもCDの排出をすることができます。
- CD が未挿入のときでも「▲」ボタン(14)を押すと、CD排出機構が動作し、動作音が聞こえます。

■選曲するとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を回します。

●先の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を右に回します。回すごとに先の曲を頭出しします。

●手前の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を左に回します。1回目で今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲の頭出しをします。

■曲の早送り、早戻しをするとき
「◀◀」ボタン (5) または「▶▶」ボタン (6) を長めに押します。

●早送り

「▶▶」ボタン (6) を0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●早戻し

「◀◀」ボタン (5) を0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

■同じ曲を繰り返し聞くと き (リピートプレイ)

- ①曲の演奏中に「RPT」ボタン(10)を押します。
- ②表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- ③解除するには再度「RPT」ボタン (10) を押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。

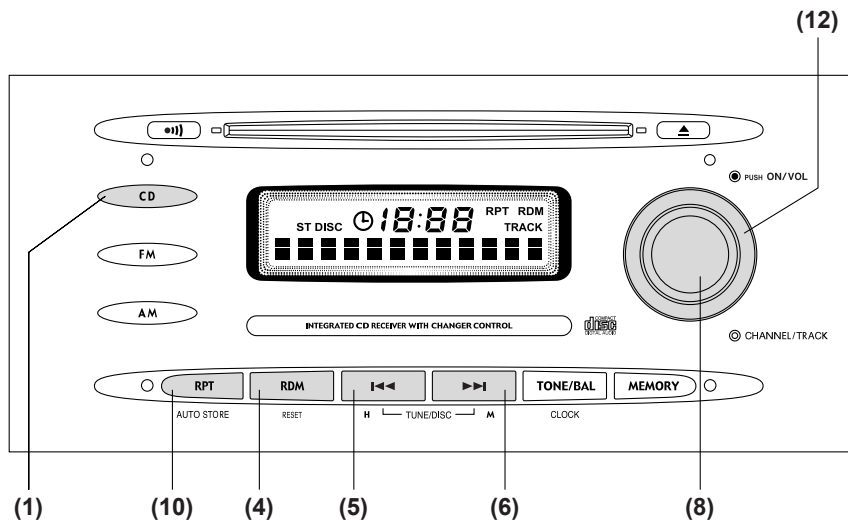
- CDを排出する
- ランダムプレイ機能にする
- 選曲、早送り、早戻しをする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 電源をOFFにする
- 他のモードにする

■曲を自動的に選ばせて聞くと き (ランダムプレイ)

- ①曲の演奏中に「RDM」ボタン (4) を押します。
- ②表示部に“RDM”が点灯します。
- ③曲を自動的に選び演奏します。
- ④解除するには再度「RDM」ボタン (4) を押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- CDを排出する
- リピートプレイ機能にする
- 選曲、早送り、早戻しをする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 電源をOFFにする
- 他のモードにする

オプションのCDチェンジャーを接続したとき



400844

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| (1) CDボタン | (8) ON/VOL (電源/音量調整)ダイヤル |
| (4) RDM (ランダム演奏) ボタン | (10) RPT (リピート演奏) ボタン |
| (5) I<<< ボタン | (12) CHANNEL/TRACK (CD選曲)ダイヤル |
| (6) >>>I ボタン | |

■演奏するとき

エンジンスイッチが Acc または ON のとき「CD」ボタン (1) を押すと演奏が始まります。

表示部に「DISC」が点灯し、ディスク番号、トラック番号 (曲番号)、演奏時間が表示されます。

🏠 アドバイス

- CD プレーヤー本体に CD が挿入されているときは「CD」ボタン (1) を押すごとに、CD プレーヤーでの再生⇄CD チェンジャーでの再生に切り替わります。

- CDチェンジャーにマガジン*が装着されていないときは、“NO MAGAZINE”と表示します。マガジンにCDが挿入されていないときは、“NO DISC”と表示します。

*マガジン：

CDを入れる入れ物のことです。このマガジンにCDを入れ、CDチェンジャーに装着するとCDチェンジャーが使用可能となります。

- CDの再生はディスク番号1→2→3→4→5→6→1…の順で再生されます。また、CDの入っていないディスク番号は飛ばして再生します。
- CDチェンジャーが動作しなくなった場合は、表示部に“ERROR -○”と表示されます。表示された場合は、マガジンを取り出してください。マガジンに挿入されているCDに傷や変形がないこと、またCDチェンジャーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。詳しくは、CDチェンジャーに付属している取扱説明書をご覧ください。

■演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤル(8)を押して電源を切るか、他のモード(ラジオ、CD)に切り替えます。

■演奏するCDを指定するとき

「◀◀」ボタン(5)または「▶▶」ボタン(6)を押します。

●先のCDにするとき

「▶▶」ボタン(6)を押します。押しごとに先のCDを再生します。

●手前のCDにするとき

「◀◀」ボタン(5)を押します。押しごとに手前のCDを再生します。

🏠 アドバイス

マガジンにCDが装着されていない番号を指定したときは次のCDを再生します。

■選曲するとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を回します。

●先の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を右に回します。回すごとに先の曲を頭出しします。

●手前の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を左に回します。1回目で今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲の頭出しをします。

■曲の早送り、早戻しをするとき

「◀◀」ボタン(5)または「▶▶」ボタン(6)を長めに押します。

●早送り

「▶▶」ボタン(6)を0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●早戻し

「◀◀」ボタン(5)を0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

■同じ曲を繰り返し聞くととき (リピートプレイ)

- ①曲の演奏中に「RPT」ボタン(10)を押します。
- ②表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- ③解除するには再度「RPT」ボタン(10)を押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。
 - マガジンを排出する
 - ランダムプレイ機能にする
 - 選曲、早送り、早戻しをする
 - エンジンスイッチをOFFにする
 - 電源をOFFにする
 - 他のモードにする

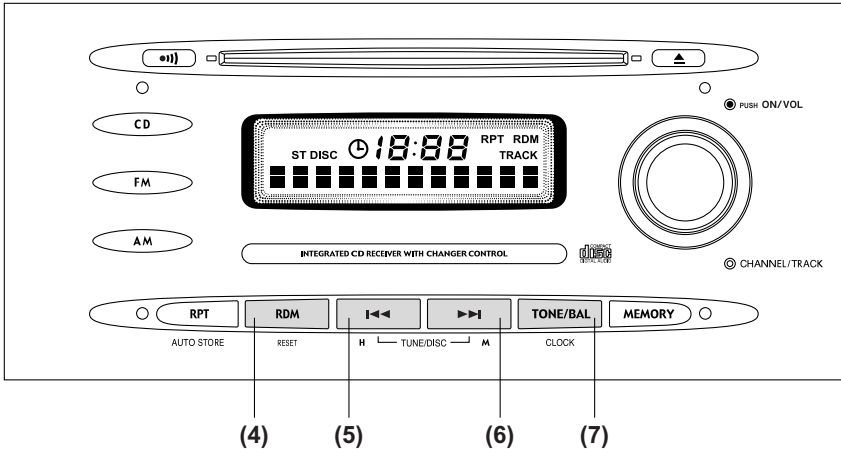
■曲を自動的に選ばせて聞くととき (ランダムプレイ)

- ①曲の演奏中に「RDM」ボタン(4)を押します。
- ②表示部に“RDM”が点灯します。
- ③曲を自動的に選び演奏します。
- ④解除するには再度「RDM」ボタン(4)を押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。
 - マガジンを排出する
 - リピートプレイ機能にする
 - 選曲、早送り、早戻しをする
 - エンジンスイッチをOFFにする
 - 電源をOFFにする
 - 他のモードにする

■マガジンの取り扱い

マガジンのチェンジャーへの挿入、チェンジャーからの排出方法、マガジンへのCD挿入、マガジンからのCD排出方法、その他のCDチェンジャーに関する注意は、CDチェンジャーに付属している取扱説明書をご覧ください。

時計



400445

- (4) RDMボタン
 (5) I<<< ボタン
 (6) >>> ボタン

- (7) TONE/BAL (音質/音量バランス)
 ボタン

■時計を合わせるとき

「TONE/BAL」ボタン (7) * を押しながら「I<<<」ボタン (5) または「>>>」ボタン (6) を押して、時刻を合わせます。

* 時計を合わせるときは「TONE/BAL」ボタンが「CLOCK」ボタンとなります。

時 (H) の調整: 「TONE/BAL」ボタン (7) を押しながら「I<<<」ボタン (5) を押しします。

分 (M) の調整: 「TONE/BAL」ボタン (7) を押しながら「>>>」ボタン (6) を押しします。

●時報に合わせて時刻を調整するとき

時報と同時に「TONE/BAL」ボタン (7) を押しながら「RDM」ボタン (4) * を押します。

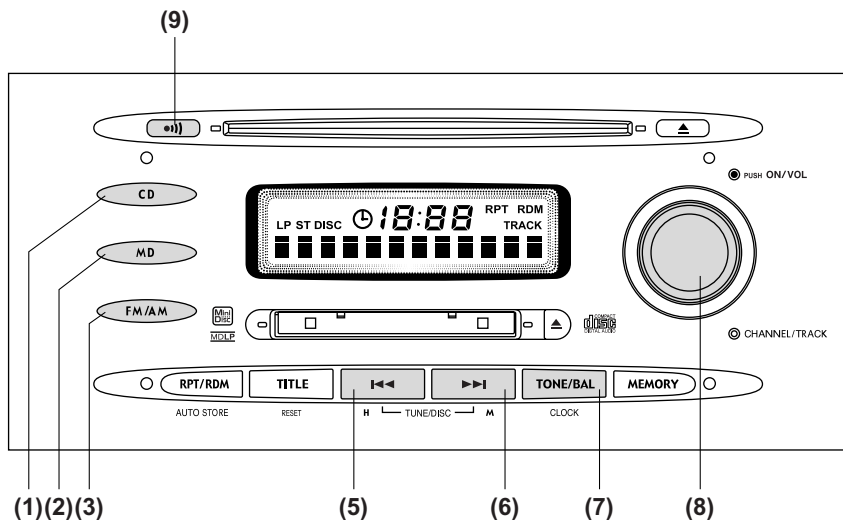
* 時計を合わせるときは「RDM」ボタンが「RESET」ボタンとなります。

(例)

11 : 30 ~ 12 : 29 → 12 : 00
 12 : 30 ~ 1 : 29 → 1 : 00

AM/FMマルチ電子チューナー・CD・MDプレーヤー

電源、音量・音質の調整



400446

- (1) CDボタン
- (2) MDボタン
- (3) FM/AMボタン
- (5) ◀▶ ボタン
- (6) ▶▶ ボタン

- (7) TONE/BAL (音質/音量バランス) ボタン
- (8) ON/VOL (電源/音量調整) ダイアル
- (9) ㊦ (交通情報) ボタン

■電源を入れるとき

エンジンスイッチが Acc または ON のとき、「ON/VOL」ダイアル (8) を押すごとに電源が ON・OFF します。

電源が ON になると、前に電源を OFF にしたときのモードになります。



アドバイス

次の操作を行っても電源を ON にすることができます。

- CD を挿入したとき

- MD を挿入したとき
- 「CD」ボタン (1) *、「MD」ボタン (2) *、「FM/AM ボタン」(3)、「㊦」ボタン (9) を押したとき
- * 「CD」ボタン (1) は CD が挿入されているとき
- 「MD」ボタン (2) は MD が挿入されているとき

■音量を調整するとき

「ON/VOL」ダイヤル (8) を回して調整します。

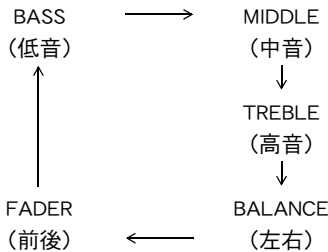
右に回す：音が大きくなります。

左に回す：音が小さくなります。

■音質と前後・左右の音量バランスを調整するとき

①「TONE/BAL」ボタン (7) を押して調整モードを選択します。

ボタンを押すごとに



と、切り替わり、表示部に表示されます。

②「◀◀」ボタン (5) または「▶▶」ボタン (6) を押して好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)	◀◀	▶▶
BASS (低音) (-6~+6)	低音減衰	低音強調
MIDDLE (中音) (-6~+6)	中音減衰	中音強調
TREBLE (高音) (-6~+6)	高音減衰	高音強調
BALANCE (左右) (L9~R9)	右側減衰	左側減衰
FADER (前後)* (R9~F9)	前側減衰	後側減衰

*オプションのリヤスピーカーをつけたときの機能です。

🏠 アドバイス

調整時、5秒間操作を行わないと、通常表示に戻ります。

●自動的に放送局を探すとき

「◀◀」ボタン (5) または「▶▶」ボタン (6) を0.5秒以上押します。放送局が見つかりと受信を始めます。

「◀◀」ボタン(5)を押す:

周波数の低い方へ放送局を探します。

「▶▶」ボタン(6)を押す:

周波数の高い方へ放送局を探します。

アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯します。

■記憶させた放送局を呼び出すとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル (12) を回してチャンネル番号を選択します。

アドバイス

バッテリーを交換したときなどは記憶した内容が消去されます。この場合は再度記憶させてください。

☆4-48ページ参照

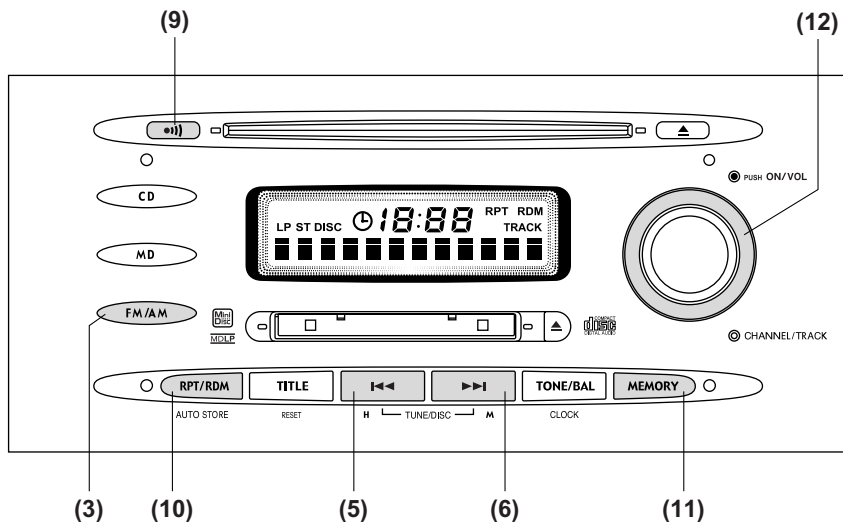
■交通情報を聞くととき

「📶」ボタン (9) を押します。

どのモードからでも自動的に切り替わりま

す。もう一度押すと、直前のモードに切り替わります。

ラジオの放送局を記憶するとき



400448

- (3) FM/AM (FM/AM切り替え) ボタン
- (5) ◀◀ ボタン
- (6) ▶▶ ボタン
- (9) ㊦ (交通情報) ボタン

- (10) RPT/RDM (リピート演奏/ランダム演奏) ボタン
- (11) MEMORY ボタン
- (12) CHANNEL/TRACK (ラジオ選局) ダイヤル

■手動で放送局を記憶するとき

- ①「FM/AM」ボタン (3) を押してバンドを選択します。
- ②「◀◀」ボタン (5) または「▶▶」ボタン (6) を操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③「MEMORY」ボタン (11) を押し続けると選択した周波数が点滅し、その後「ch」が点滅します。

- ④「CHANNEL/TRACK」ダイヤル (12) を回して記憶したいチャンネル番号 (1～6 ch) を選択します。
- ⑤「MEMORY」ボタン (11) を2秒以上押します。
- ⑥以降、同様に②～⑤の手順を繰り返し、他のチャンネルに放送局を記憶できます。

アドバイス

各バンド（FM1、FM2、AM）で最大6局まで記憶できます。

■自動的に放送局を記憶するとき (AUTO STORE)





- ①「FM/AM」ボタン（3）を押してバンドを選択します。
- ②「RPT/RDM」ボタン（10）*を2秒以上押します。
受信可能な放送局が見つかったと、チャンネル1から自動的に周波数の低い順に記憶されます。

*ラジオ受信モードでは「RPT/RDM」ボタンが「AUTO STORE」ボタンとなります。

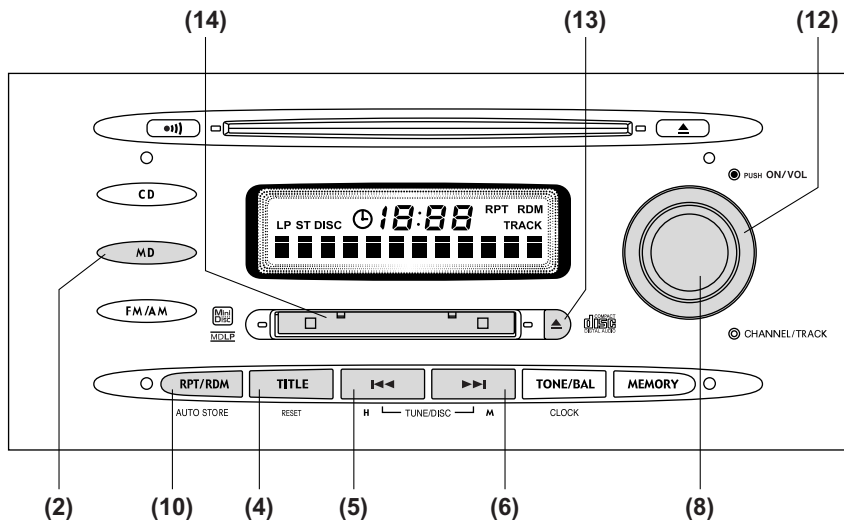
アドバイス

受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

●交通情報局をかえるとき

- ①「」ボタン（9）を押して交通情報を選択します。
- ②「」ボタン（5）または「」ボタン（6）を押して選局します。
- ③「」ボタン（9）を2秒以上押すと、選局した交通情報局を記憶させることができます。

MDを聞くとき



400041

- | | |
|--|---|
| <p>(2) MDボタン</p> <p>(4) TITLEボタン</p> <p>(5) ◀▶ ボタン</p> <p>(6) ▶▶ ボタン</p> <p>(8) ON/VOL (電源/音量調整)ダイヤル</p> | <p>(10) RPT/RDM (リピート演奏/ランダム演奏) ボタン</p> <p>(12) CHANNEL/TRACK (MD選曲)ダイヤル</p> <p>(13) MDイジェクト (MD排出) ボタン</p> <p>(14) MD挿入口</p> |
|--|---|

■MDを聞くとき

●MDを挿入する

エンジンスイッチが Acc または ON のとき、MD を挿入することができます。MD のラベル面を上にし、シャッター面を右側にして MD 挿入口 (14) に入れます。MD を挿入すると演奏が始まります。MD 演奏中はトラック番号 (曲番号) と演奏時間を表示します。

●MDが挿入されているとき

「MD」ボタン (2) を押すと演奏が始まります。MD 演奏中はトラック番号 (曲番号) と演奏時間を表示します。

🏠 アドバイス

- MDが挿入されていないとき、MD挿入口 (14) の両端の表示灯は点灯しています。MDを挿入すると表示灯は消灯します。

- MDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“ERROR -○”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタン (13) を押してMDを取り出してください。MDに傷や変形がないこと、またMDプレーヤーに対応しているMDが正しく挿入されていることを確認してください。MDが取り出せない場合、もしくはMDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。

■MDLPを聞くとき

通常のMDと同じ操作で聞くことができます。



アドバイス

- MDLP再生中は表示部に“LP”が点灯します。
- データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

■演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤル (8) を押すか、他のモードに切り替えます。

または「▲」ボタン (13) を押してMDを排出します。

■MDを取り出すとき

「▲」ボタン (13) を押します。MDが排出され、前のモードに切り替わります。



アドバイス

エンジンスイッチがOFFでもMDの排出をすることができます。

■選曲するとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル (12) を回します。

●先の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル (12) を右に回します。回すごとに先の曲を頭出します。

●手前の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル (12) を左に回します。1回目で今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲の頭出しをします。

■曲の早送り、早戻しをするとき

「◀◀」ボタン (5) または「▶▶」ボタン (6) を長めに押します。

●早送り

「▶▶」ボタン (6) を0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●早戻し

「◀◀」ボタン (5) を0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

■同じ曲を繰り返し聞くととき (リピートプレイ)

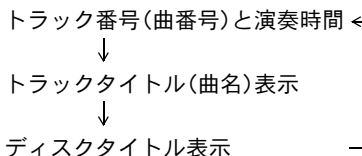
- ①曲の演奏中に[RPT/RDM]ボタン(10)を押します。
- ②表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- ③解除するには再度[RPT/RDM]ボタン(10)を押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。
 - MDを排出する
 - ランダムプレイ機能にする
 - 選曲、早送り、早戻しをする
 - エンジンスイッチをOFFにする
 - 電源をOFFにする
 - 他のモードにする

■曲を自動的に選ばせて聞くととき (ランダムプレイ)

- ①曲の演奏中に[RPT/RDM]ボタン(10)を2秒以上押します。
- ②表示部に“RDM”が点灯します。
- ③曲を自動的に選び演奏します。
- ④解除するには再度[RPT/RDM]ボタン(10)を押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。
 - MDを排出する
 - 選曲、早送り、早戻しをする
 - エンジンスイッチをOFFにする
 - 電源をOFFにする
 - 他のモードにする

■表示部の表示を切り替えるとき

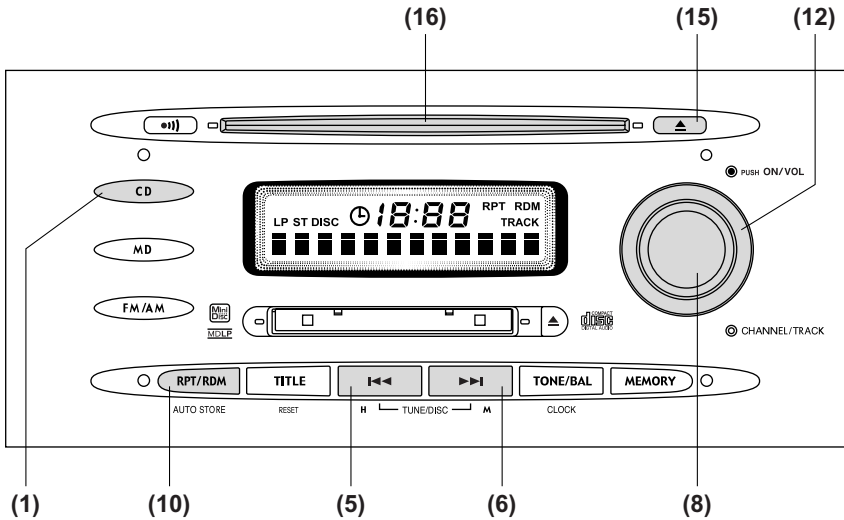
MD再生時、「TITLE」ボタン(4)を押すごとに表示の切り替えができます。



アドバイス

- 漢字、ひらがなで入力されたタイトルは表示できません。
- タイトル文字は1回に12文字まで表示できます。
- タイトル名が13文字以上の場合、タイトル表示中に「TITLE」ボタン(4)を2秒以上押し続けるごとに、13文字以降のタイトルを表示します。
- MDにタイトルが記録されていない場合は表示しません。その場合“no name”と表示します。

CDを聞くとき



400042

- | | |
|--|---|
| <p>(1) CDボタン</p> <p>(5) ◀◀ ボタン</p> <p>(6) ▶▶ ボタン</p> <p>(8) ON/VOL (電源/音量調整)ダイヤル</p> | <p>(10) RPT/RDM (リピート演奏/ランダム演奏) ボタン</p> <p>(12) CHANNEL/TRACK (CD選曲)ダイヤル</p> <p>(15) イジェクト (CD排出) ボタン</p> <p>(16) CD挿入口</p> |
|--|---|

■CDを聞くとき

●CDを挿入する

エンジンスイッチが Acc または ON のとき、CDを挿入することができます。ラベル面を上にしてCD挿入口(16)に差し込みます。CDを挿入すると演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号(曲番号)と演奏時間を表示します。

●CDが挿入されているとき

「CD」ボタン(1)を押すと演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号(曲番号)と演奏時間を表示します。

室内装備品の使いかた

アドバイス

- 8 cm CD は 8 cm CD アダプターを使用せず、そのまま挿入してください。アダプターを使用すると、ディスクが取り出せないなど、損傷の原因となります。
- CDが挿入されていないとき、CD挿入口(16)の両端の表示灯は点灯しています。CDを挿入すると消灯します。
- 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- CD-ROMやMP3*、WMA*で記録されたCDは再生できません。
- CD・TEXTについては対応しておりません。
- CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“ERROR -○”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタン(15)を押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。

* 音楽データを圧縮して記録する方式

■演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤル(8)を押して電源を切るか、他のモードに切り替えます。

■CDを取り出すとき

「▲」ボタン(15)を押します。CDが排出され、前のモードに切り替わります。

アドバイス

- 排出されたCDを15秒以上そのままにしておくと自動的に引き込まれます。(エンジンスイッチがAccまたはONの場合)この場合、CDの再生モードに切り替わらずそのままの状態です。CDを聞くときは再度「CD」ボタンを押してください。
- エンジンスイッチがOFFでもCDの排出をすることができます。
- CD が未挿入のときでも「▲」ボタン(15)を押すと、CD排出機構が動作し、動作音が聞こえます。

■選曲するとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を回します。

●先の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を右に回します。回すごとに先の曲を頭出しします。

●手前の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を左に回します。1回目まで今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲の頭出しをします。

■曲の早送り、早戻しをするとき
「◀◀」ボタン (5) または「▶▶」ボタン (6) を長めに押します。

●早送り

「▶▶」ボタン (6) を0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●早戻し

「◀◀」ボタン (5) を0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

■同じ曲を繰り返し聞くと き (リピートプレイ)

- ①曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタン(10)を押します。
- ②表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- ③解除するには再度「RPT/RDM」ボタン(10)を押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。

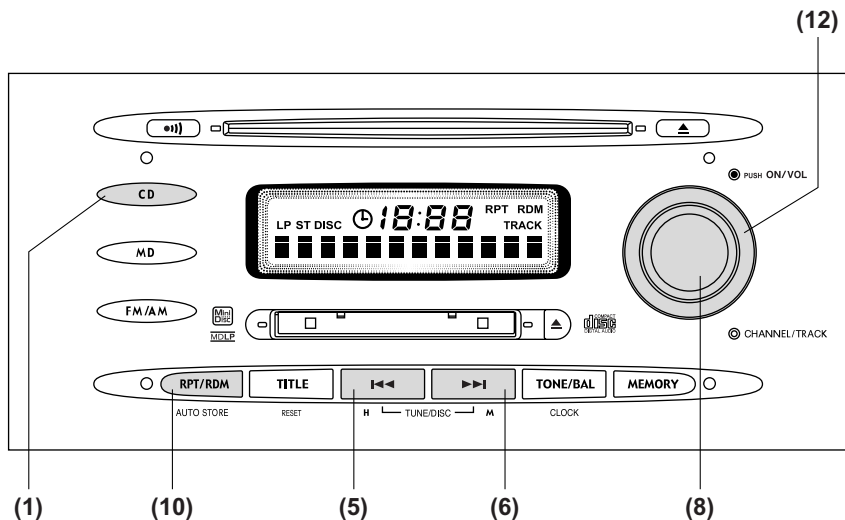
- CDを排出する
- ランダムプレイ機能にする
- 選曲、早送り、早戻しをする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 電源をOFFにする
- 他のモードにする

■曲を自動的に選ばせて聞くと き (ランダムプレイ)

- ①曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタン (10) を2秒以上押します。
- ②表示部に“RDM”が点灯します。
- ③曲を自動的に選び演奏します。
- ④解除するには再度「RPT/RDM」ボタン(10)を押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- CDを排出する
- 選曲、早送り、早戻しをする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 電源をOFFにする
- 他のモードにする

オプションのCDチェンジャーを接続したとき



400043

- | | |
|--|--|
| <p>(1) CDボタン</p> <p>(5) ◀◀ ボタン</p> <p>(6) ▶▶ ボタン</p> <p>(8) ON/VOL (電源/音量調整)ダイヤル</p> | <p>(10) RPT/RDM (リピート演奏/ランダム演奏) ボタン</p> <p>(12) CHANNEL/TRACK (CD選曲)ダイヤル</p> |
|--|--|

■演奏するとき

エンジンスイッチが Acc または ON のとき「CD」ボタン (1) を押すと演奏が始まります。

表示部に「DISC」が点灯し、ディスク番号とトラック番号 (曲番号) が表示されます。

🏠 アドバイス

- CD プレーヤー本体に CD が挿入されているときは「CD」ボタン (1) を押すごとに、CD プレーヤーでの再生⇄CD チェンジャーでの再生に切り替わります。

- CDチェンジャーにマガジン*が装着されていないときは、“NO MAGAZINE”と表示します。マガジンにCDが挿入されていないときは、“NO DISC”と表示します。

*マガジン：

CDを入れる入れ物のことです。このマガジンにCDを入れ、CDチェンジャーに装着するとCDチェンジャーが使用可能となります。

- CDの再生はディスク番号1→2→3→4→5→6→1…の順で再生されます。また、CDの入っていないディスク番号は飛ばして再生します。
- CDチェンジャーが動作しなくなった場合は、表示部に“ERROR -○”と表示されます。表示された場合は、マガジンを取り出してください。マガジンに挿入されているCDに傷や変形がないこと、またCDチェンジャーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。詳しくは、CDチェンジャーに付属している取扱説明書をご覧ください。

■演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤル(8)を押して電源を切るか、他のモード(ラジオ、CD)に切り替えます。

■演奏するCDを指定するとき

「◀◀」ボタン(5)または「▶▶」ボタン(6)を押します。

●先のCDにするとき

「▶▶」ボタン(6)を押します。押しごとに先のCDを再生します。

●手前のCDにするとき

「◀◀」ボタン(5)を押します。押しごとに手前のCDを再生します。

🏠 アドバイス

マガジンにCDが装着されていない番号を指定したときは次のCDを再生します。

■選曲するとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を回します。

●先の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を右に回します。回すごとに先の曲を頭出しします。

●手前の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤル(12)を左に回します。1回目で今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲の頭出しをします。

■曲の早送り、早戻しをするとき

「◀◀」ボタン(5)または「▶▶」ボタン(6)を長めに押します。

●早送り

「▶▶」ボタン(6)を0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●早戻し

「◀◀」ボタン(5)を0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

■同じ曲を繰り返し聞くと き（リピートプレイ）

- ①曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタン(10)を押します。
- ②表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- ③解除するには再度「RPT/RDM」ボタン(10)を押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。
 - マガジンを排出する
 - ランダムプレイ機能にする
 - 曲の選曲をする
 - エンジンスイッチをOFFにする
 - 電源をOFFにする
 - 他のモードにする
 - 曲の早送り、早戻しをする

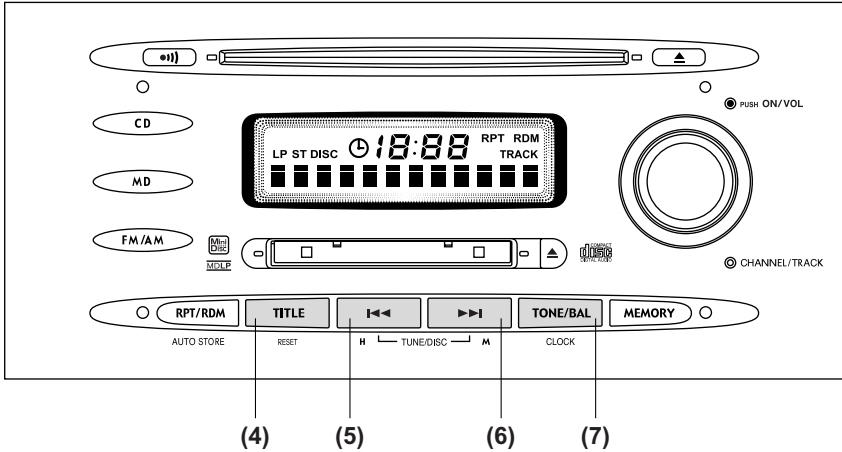
■曲を自動的に選ばせて聞くと き（ランダムプレイ）

- ①曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタン(10)を2秒以上押します。
- ②表示部に“RDM”が点灯します。
- ③曲を自動的に選び演奏します。
- ④解除するには再度「RPT/RDM」ボタン(10)を押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。
 - マガジンを排出する
 - 曲の選曲をする
 - リピートプレイ機能にする。
 - エンジンスイッチをOFFにする
 - 電源をOFFにする
 - 他のモードにする
 - 曲の早送り、早戻しをする

■マガジンの取り扱い

マガジンのチェンジャーへの挿入、チェンジャーからの排出方法、マガジンへのCD挿入、マガジンからのCD排出方法、その他のCDチェンジャーに関する注意は、CDチェンジャーに付属している取扱説明書をご覧ください。

時計



400449

- (4) TITLEボタン
- (5) I◀◀ ボタン
- (6) ▶▶I ボタン

- (7) TONE/BAL (音質/音量バランス) ボタン

■時計を合わせるとき

「TONE/BAL」ボタン (7) * を押しながら「I◀◀」ボタン (5) または「▶▶I」ボタン (6) を押して、時刻を合わせます。

* 時計を合わせるときは「TONE/BAL」ボタンが「CLOCK」ボタンとなります。

時 (H) の調整：「TONE/BAL」ボタン (7) を押しながら「I◀◀」ボタン (5) を押します。

分 (M) の調整：「TONE/BAL」ボタン (7) を押しながら「▶▶I」ボタン (6) を押します。

●時報に合わせて時刻を調整するとき

時報と同時に「TONE/BAL」ボタン (7) を押しながら「TITLE」ボタン (4) * を押します。

* 時計を合わせるときは「TITLE」ボタンが「RESET」ボタンとなります。

(例)


11 : 30 ~ 12 : 29 → 12 : 00
12 : 30 ~ 1 : 29 → 1 : 00

室内装備


室内の照明

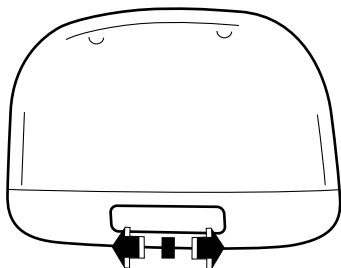
■ルームランプ

スイッチの位置により切り替えができます。

 : 常に点灯します。

中間 : リモコンキーもしくは携帯機で解
(ドア連動) 錠または、ドアを開けると点灯し、閉
めると一定時間点灯後消灯します。

 : 常に消灯します。



400110

●オフディレイ機能

中間（ドア連動）位置にしているとき、リモコンキーもしくは携帯機で解錠または、ドアを開けて閉めたときに約30秒間減光点灯し、徐々に消灯します。（オフディレイ機能）

この機能は、スバル販売店にて消灯する時間を設定できます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

☆1-2ページ参照

●キー抜き連動機能


中間（ドア連動）位置にしているとき、エンジンスイッチからキーを抜くと約30秒間点灯し、徐々に消灯していきます。

●バッテリー上がり防止機能

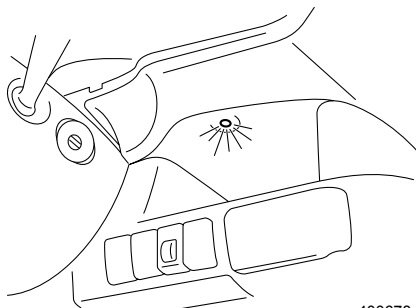
半ドアなどでルームランプが点灯し続けた場合、バッテリー上がりを防止するため、約30分後に自動的に消灯します。

☆2-3ページ参照

■インパネシャワーライト

インストルメントパネル左右のカップホルダーおよびポケット部を照らします。ライティングスイッチを●またはにすると常時点灯します。

☆3-4ページ参照



400678

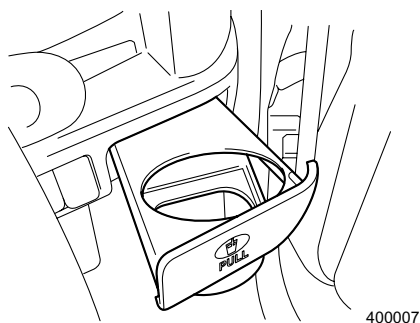
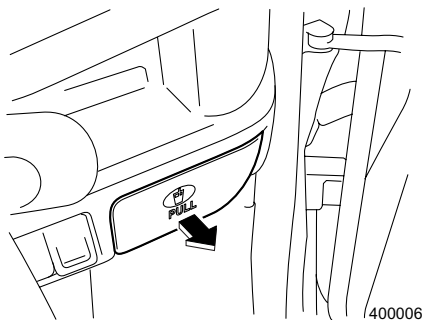
カップホルダー

警告

- 飲み物の出し入れは信号待ちなどの停車中に行ってください。走行中の使用は思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物などはやけどのおそれがありますのでご注意ください。

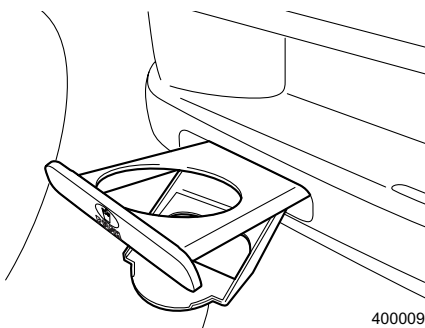
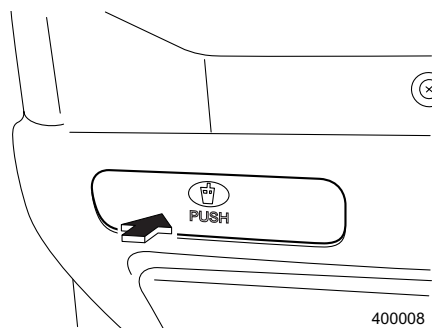
■運転席用

フタを引くとカップホルダーとして使用できます。



■助手席用

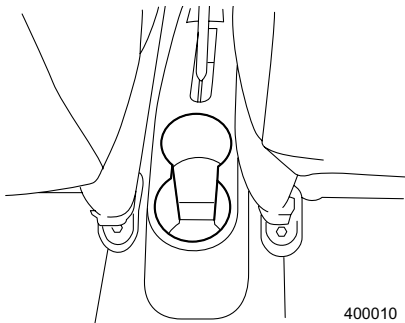
フタを押し、さらに引き出すとカップホルダーとして使用できます。



■後席用

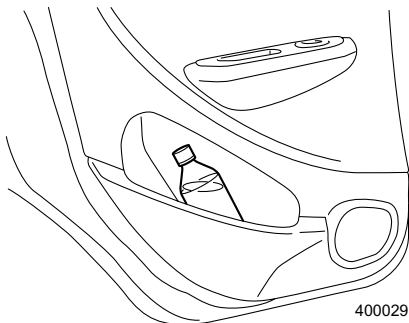
●センターコンソール

センターコンソール後方にカップ、コーヒー缶などを置くことができます。



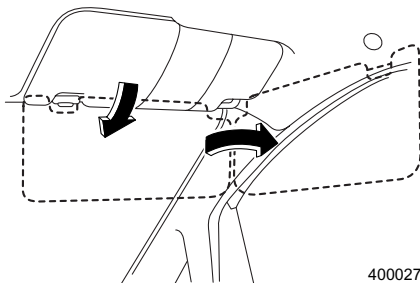
●リヤドア

左右のリヤドアに各1つの小物入れ兼用のボトルホルダーがあります。



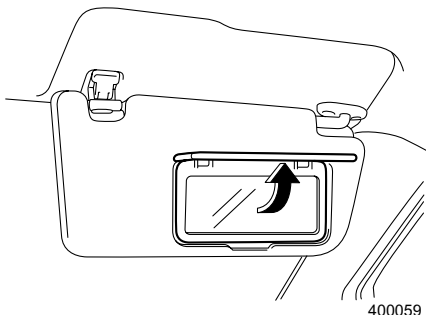
サンバイザー

横に回すときはフックから外して使用します。運転席側にはチケットホルダーが付いています。



■バニティミラー

運転席のサンバイザー裏側に鏡が付いています。



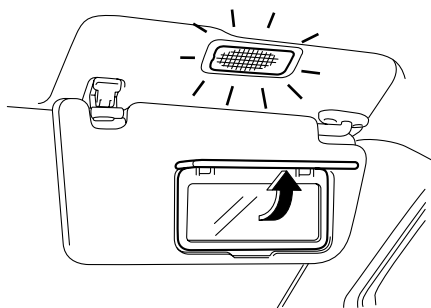
注意

走行中は、必ずフタを閉めてください。

小物入れ

■照明付バニティミラー

運転席と助手席のサンバイザー裏側に鏡がついています。フタを開けると照明が点灯します。必要のないときは、必ずフタを閉めてください。



400028

⚠ 注意

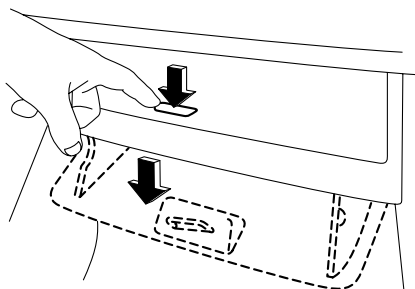
走行中は、必ずフタを閉めてください。

⚠ 注意

走行中は必ず閉めておいてください。
万一の場合、フタに体が当たったり、中に入れたものが飛びだして思わぬけがをするおそれがあります。
炎天下での駐車は大変高温になりますので、メガネやライターなどを収納しないでください。

■グローブボックス

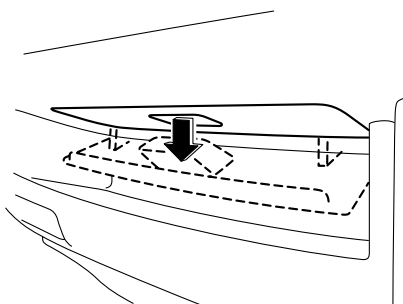
小物や書類を入れるのに使います。棚の中央にあるボタンを押すとフタが開きます。



400005

■車検証入れ

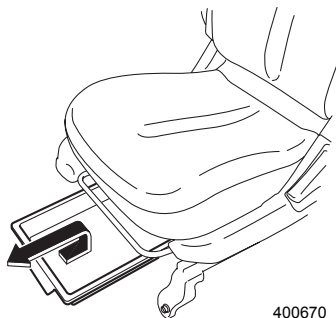
フタを引くと開きます。



400004

■シートアンダートレイ（助手席）

トレイを一旦押しこみ、少し上に上げてから引き出して使用します。

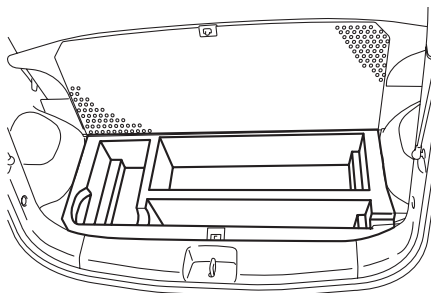


⚠ 注意

- 走行するときはトレイを一番奥まで確実に戻してください。また、走行中はトレイを引き出さないでください。万一の場合、トレイに体が当たったり、中に入れたものが飛び出して思わぬけがをするおそれがあります。
- 重さが約 1.0kg 以上ある物をトレイに入れると、急ブレーキをかけたときなどにトレイが飛び出すおそれがあります。

サブトランク

ラゲッジルームの床下に小さい荷物を収納することができます。三角停止表示板も収納できます。



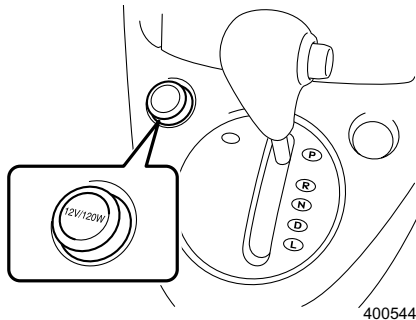
🏠 アドバイス

サブトランクを取り外すときは、リヤシートの背当てを倒してから取り外してください。

電源ソケット

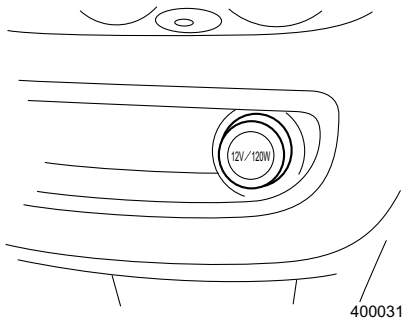
エンジンスイッチが Acc または ON のとき
12V 直流電流が取り出せます。

自動車用電気製品の電源ソケットとしてご
使用ください。



400544

〈i-CVT車〉



400031

〈MT車〉

⚠ 注意

ソケットから電源を取るとき

スバル純正品の使用をお奨めします。

また、自動車用電気製品は必ず12V
120W以下のものをご使用ください。

- タコ足配線はしないでください。発火
することがあります。
- 銀紙、硬貨などの異物を入れないで
ください。
- 電源ソケットにプラグが合わない（ガ
タがあったり、きつくて入らない）場
合は、接触不良や抜けなくなる原因と
なります。ソケットに合ったプラグを
ご使用ください。
- エンジン停止状態またはアイドルリ
ング状態のまま電気製品を長時間使用
すると、バッテリー上がりを起こすこ
とがありますのでご注意ください。
また、走行中の使用でも不要になっ
たら切るように心がけてください。

MEMO

